

平成 19 年度日本植物分類学会講演会

今年度のテーマは「Flora of Japan(日本植物誌)」です。1993 年から発行が始まった「Flora of Japan(講談社)」を執筆された先生方に、「原色日本植物図鑑(保育社)」や「日本の野生植物(平凡社)」と異なる点やそれらに関するご研究をご講演いただきます。

【日時】2007 年 12 月 15 日(土)10 時 20 分～17 時(申込み不要)【講演会場】兵庫県立人と自然の博物館 ホロンピアホール兵庫県三田市弥生が丘 6 丁目(電話:079-559-2001) 直接ホロンピアホール入口へは行かず、博物館の入口からお入りください(当日は案内看板を設置します)。【参加料】無料。ただし、博物館の観覧料が必要です(大人 200 円)。日本植物分類学会会員の方は観覧料不要です。【会場までのアクセス】大阪駅から約 47 分(JR 三田駅で神戸電鉄に乗り換え)、神戸電鉄「フラワータウン駅」下車徒歩すぐ。<http://hitohaku.jp/top/visitor_info.html>

【問合せ】日本植物分類学会講演会担当委員布施 静香(兵庫県立人と自然の博物館)TEL: 079-559-2001

プログラム

10:20 ~ 10:30 ご挨拶 10:30 ~ 11:05 岩槻邦男(兵庫県立人と自然の博物館) 「Flora of Japan を地球規模で考える」11:10 ~ 11:45 邑田仁(東京大学大学院) 「日本産ツチトリモチ科とホンゴウソウ科の広域分布性」11:50 ~ 12:25 副島顕子(大阪府立大学) 「Aster & Menispermaceae 分類学者の迷いと後悔」(12:25 ~ 13:40 昼休憩)13:40 ~ 14:15 門田裕一(国立科学博物館) 「日本産キンポウゲ科に関する分類学的研究の現状」14:20 ~ 14:55 田村 実(大阪市立大学大学院) 「日本のユリ科の分類 特にアマドコロ属の分類の改訂を中心にして」15:00 ~ 15:35 横田昌嗣(琉球大学) 「ラン科」15:40 ~ 16:15 勝山輝男(神奈川県立生命の星・地球博物館) 「スゲ属植物最近の話題」16:20 ~ 16:55 大場秀章(東京大学総合研究博物館) 「地球規模での多様性解析からみた日本の植物相 アブラナ科, オトギリソウ科, アカバナ科を例に」

要旨: ポスター: 地図: